

広島大学大学院「半導体革新集積科学リーダー育成プログラム」 第1回 広島大学半導体コンソーシアム会議

●広島大学は博士課程5年一貫教育「半導体革新集積科学リーダー育成プログラム」を開始します

このプログラムは、産業界において独創的発想によって科学・技術の発展を牽引し、国際社会においてはリーダーとして革新的技術の創成を先導できる能力と活力をもった人材を育成することにより、半導体分野のイノベーションを牽引する人材養成を目的としています。プログラム前期(D1~D2)では、応用に重点化した先端デバイス・システム科目に加えて、先端基礎科学科目を設け、基礎を専攻する学生には応用力を、応用を専攻する学生には基礎力をつける教育を行います。後期(D3~D5)では、産業界や独法研究所との密接な連携の下、「プロジェクト型実践研究・教育」を実施することで、学生自らプロジェクトの詳細を立案・遂行していくことにより、コミュニケーションやマネジメント能力といったリーダーに不可欠な能力を育てます。これは同時に、キャリアパスを見据えた研究・教育を実現することにもつながると考えています。

●産業界との強力な連携のために「広島大学半導体コンソーシアム」を立ち上げます

産業界で真に必要とされるリーダーを育成するために、産・官との密接な連携の場として広島大学半導体コンソーシアムを立ち上げます。本会議では、本プログラムの骨格を説明すると同時に、連携窓口となる広島大学コラボレーションオフィスの役割を明確にし、広島大学コンソーシアムへ参画いただける企業会員を募ります。参加者の皆様からの忌憚のないご意見は、今後組織の形態を最終決定する際に大いに生かしていく計画です。日本の半導体関連企業の再生に向けた我々の意気込みを実りあるものにするために、ここに公開討論の場を設けます。

日時：2011年11月21日(月) 10:30~17:00

場所：キャンパス・イノベーションセンター東京 1階 国際会議室

プログラム

- 10:30 オープニング
理事・副学長 土屋 英子
 - 10:40 広島大学大学院リーディングプログラム機構について
学長補佐 相田 美砂子
 - 11:10 半導体集積科学教育カリキュラム
プログラム担当者 東 清一郎
 - 11:40 コラボレーションオフィス構想
学術企画グループリーダー 小左古 学
 - 12:10 質疑応答
 - 13:00 昼食
 - 14:00 研究テーマ説明
「回路モデルHiSIM Family」 Mattausch Hans Jürgen
「革新的大気圧半導体プロセス技術の開発とデバイス応用」 東清一郎
「医療応用ナノデバイス・システム技術の研究」 吉川公磨
「有機半導体材料の開発」 瀧宮和男
「振動SFG分光による有機半導体薄膜の研究」 石橋孝章
「光アンテナ」 角屋豊
 - 16:00 質疑応答
 - 17:00 閉会
- プログラム進行：三浦道子

会場案内図



<http://www.zam.go.jp/e00/images/e0000906.jpg>

参加申し込み、お問い合わせ：学術室 小左古 (082-424-5860)

E-mail: gakujutu-k-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

連携する研究科：先端物質科学研究科、工学研究科
理学研究科物理・化学、総合科学研究科